

令和3年11月18日
愛媛大学

まちなか大学トークセミナー vol.3 「編集的思考とは何か？」を開催

愛媛大学社会連携推進機構地域共創研究センターでは、「まちなか大学トークセミナー」をオンラインにて開催いたします。

今回の「まちなか大学」では「編集者」にスポットライトをあて、「編集力」ないし「編集的思考」とでもいうべきものについて、第一線で活躍する4名の編集者をゲストに迎えて、議論を深めていきます。

つきましては、地域へ広く周知いただきますとともに、取材くださいますようお願いいたします。

記

- 日時 令和3年11月29日（月）18:30～20:00
- 主催 愛媛大学社会連携推進機構地域共創研究センター
- 開催方法 ZOOMによるオンライン開催
- 定員 30名
- 参加費 無料（要事前申込）
- 実施内容 詳細は別紙参照

※取材いただける場合は、可能な限りお早めに（遅くとも前日までに）、
下記問い合わせ先までご連絡ください。

本件に関する問い合わせ先

愛媛大学地域共創研究センター（まちなか大学 担当）
准教授 山口信夫（やまぐち のぶお）
Mail : yamaguchi.nobuo.my@ehime-u.ac.jp
TEL : 089-927-8512

（愛媛大学社会連携支援部地域連携推進室）

※送付資料2枚（本紙を含む）

2021
11/
Mon

29

18:30-20:00
@Zoom開催

無料

要予約
定員30名

地域づくり、新製品開発、ライフデザイン...etc.、

われわれの暮らす社会には唯一最善のやり方を想定できないものがたくさんあります。ほとんどすべてといってもよいのではないのでしょうか。しかし、すぐれた実践者は、多彩な経験から得られたインプットをうまく組織化し、創造的なアウトプットに結びつけています。すぐれて「編集」的なスキルといえます。今回のまちなか大学では「編集者」にスポットライトをあて、「編集力」ないし「編集的思考」とでもいうべきものについて議論を深めてみたいと思います。

議論に参加していただくのは、『新世代エディターズファイル：越境する編集』（株式会社ビー・エヌ・エヌ、2021年）編集陣の影山裕樹さんと瀬下翔太さん。お2人ともローカル（地方）なものへの特徴的視点をお持ちの編集者です。また、同著に紹介されている大木春菜さんと、長年、ライティング・編集業界を引っ張ってきたミズモトアキラさんにも、「愛媛代表」として議論に加わっていただきます。

ゲスト

影山裕樹

KAGEYAMA Yuki
編集者／合同会社
千十一編集室

瀬下翔太

SESHIMO Shota
編集者／ディレクター／
NPO法人bootopia

大木春菜

OOKI Haruna
編集者／株式会社
せいかつ編集室

ミズモトアキラ

MIZUMOTO Akira
編集者／DJ／デザイナー



問合せ

愛媛大学地域共創研究センター

まちなか大学担当・山口信夫

✉ e-mail yamaguchi.nobuo.my@ehime-u.ac.jp

参加を希望される方はタイトルに「まちなか大学vol.3参加希望」と明記したうえで、本文に①お名前（SNSネーム可）、②連絡先、③ご所属をご記入のうえ、上記のアドレスまで電子メールでお申込みください（11/28締切）。開催当日に、ZoomミーティングのURLとパスワードをお送りします。ご不明な点についてのお問い合わせのみ、お電話でも受け付けています。Tel 089-927-8512（社会連携支援部地域連携推進室）



協力（収録場所）

PAAC 平和通りアートセンター

編集的思考とは何か？